

女性連合のこれからを考える

新たな女性連合を目指して

<課題>

1. 財政
2. 性で括る会のあり方
3. 世界バプテスト祈禱週間

<連盟のこれからの国外に関する「中間答申」>

「国際宣教委員会」の具体的活動案

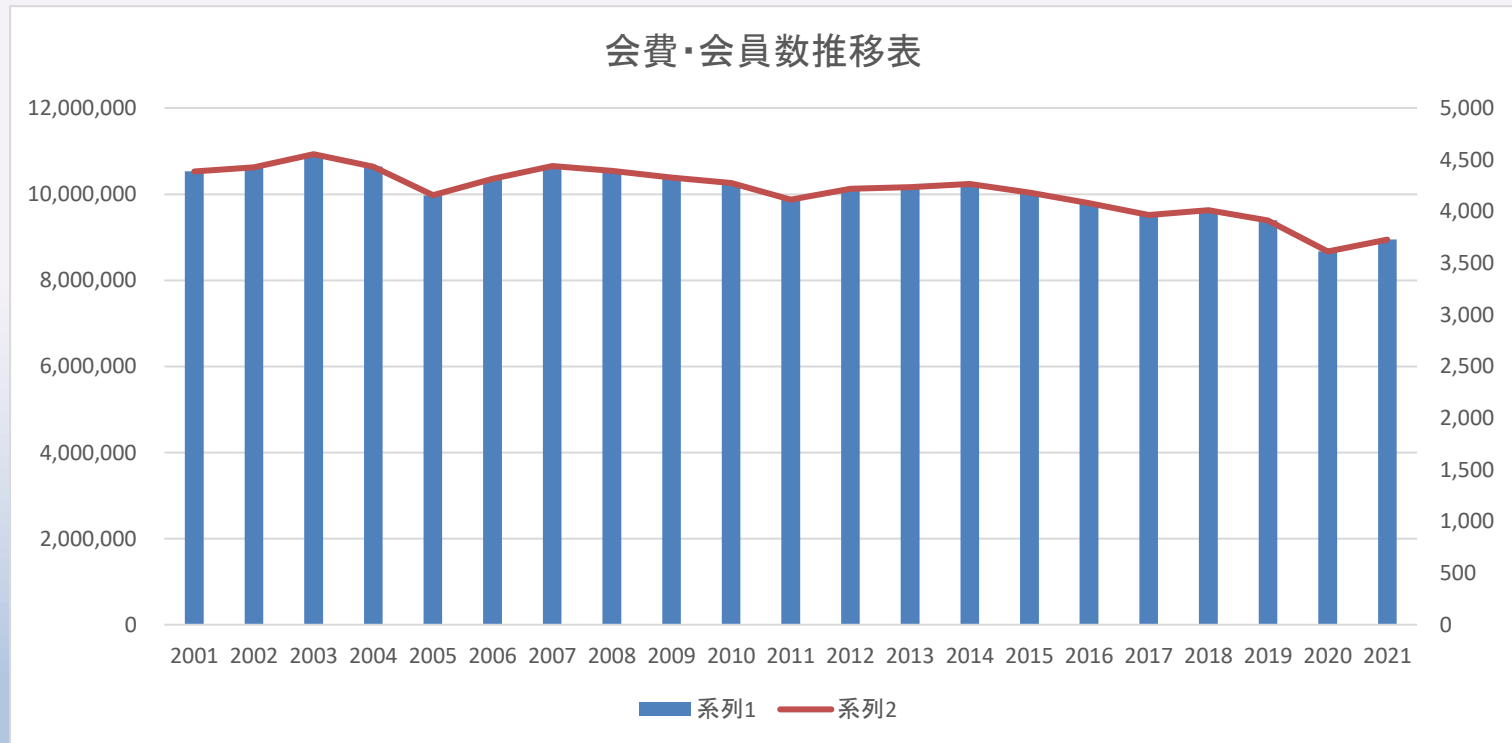
- 1, 国内諸教会が取り組む国際宣教 2, 国際宣教ワーカーへの宣教協力として
- 3, 青少年育成として、4, 国際宣教課題の学習、国際交流
- <検討チームで協議・検討されてきた新たな理念案
- 女性たちが連帯する意味 ・ 多様性を大切に ・ アジア諸国への戦争責任
- 財政・組織体制など
- 「個人での加入」について

女性連合の課題

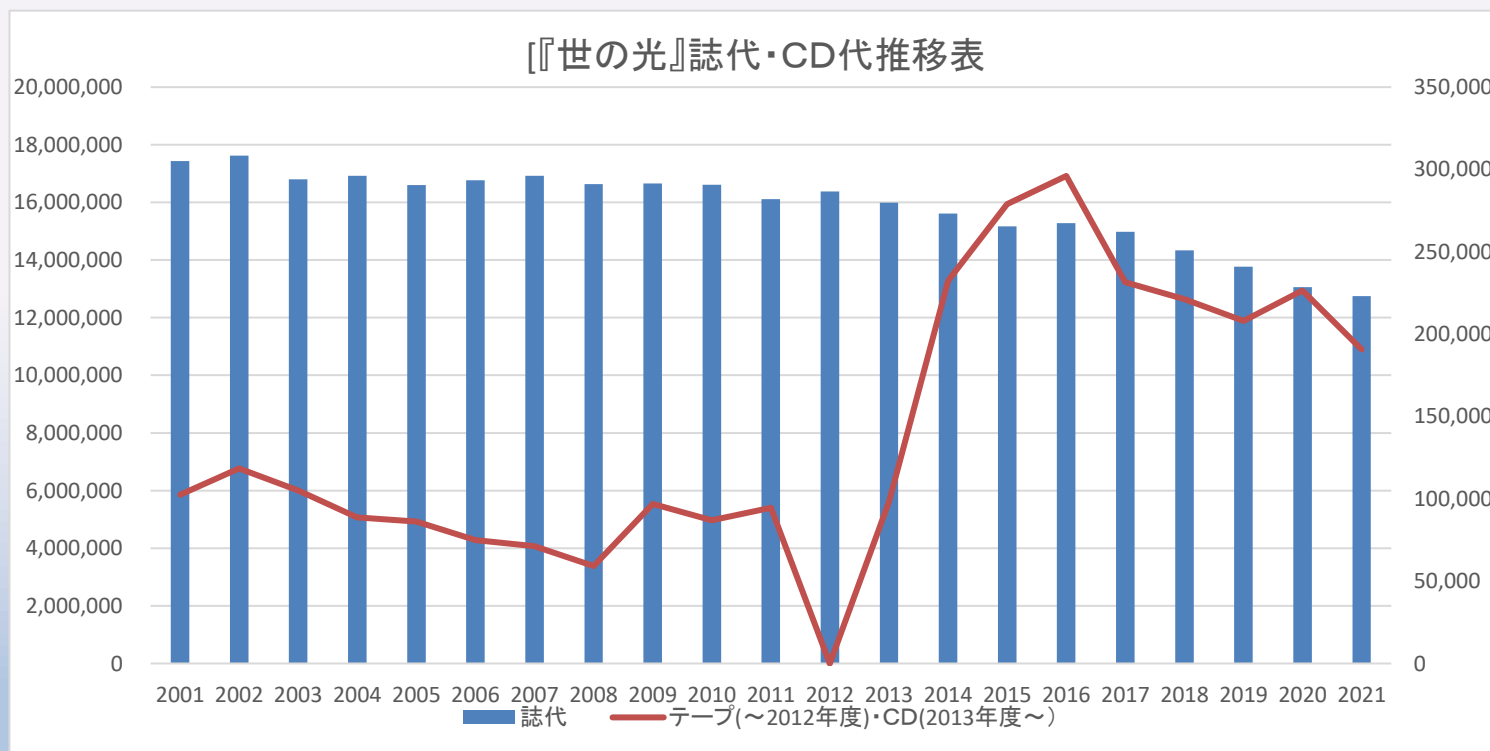
(財政・活動・組織体制)

- ・ 会員の減少・高齢化
- ・ 会費・『世の光』 減
- ・ 性で括る「女性会」について
- ・ ジェンダー課題
- ・ 世界バプテスト祈禱週間

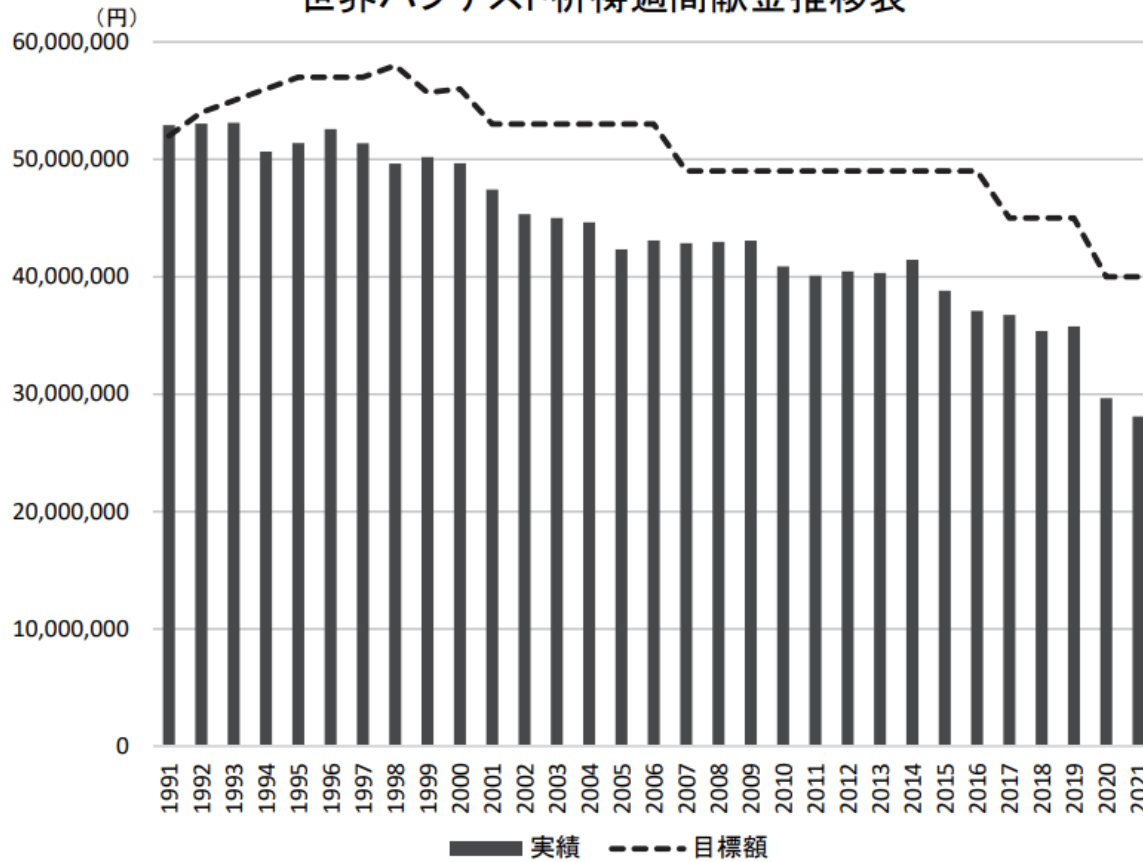
会費・会員数 推移表



『世の光』誌代・CD代 推移表



世界バプテスト祈禱週間献金推移表



これからの女性連合の理念（案） VER3

- 2022年4月6日付
- 2022年6月18日修正
- 2022年7月23日修正
- 2022年8月20日修正

【目的】 全国のバプテスト「女性」たちとつながり、祈り、励ましあい協働していく。

【聖句】 創2：7、イザヤ61：1-2、ルカ 1:47-55、ルカ4:18-19、マタイ 5:9、イザヤ 2:4-5

【ビジョン】

私たちは、イエス・キリストを救い主と告白し、日本を含む世界のすべての人びと・被造物とともに神の愛（福音）を分かち合う世界宣教を使命として、祈りとみ言葉によってつながり、ともに生きる。

【ミッション】

① いのちの道を歩む（創2：7） 神がつくられたすべての「いのち」を慈しみ尊ぶ。

② イエス・キリストの道を歩む（イザヤ61：1-2、ルカ 1:47-55、4:18-19）

イエスの「ちむぐりさ」（※）の愛に倣い、この世界の差別や不平等の中で抑圧されている人びとの解放と癒しを目指す。

③ 平和への道を歩む（マタイ 5:9、イザヤ 2:4-5）

アジアをはじめ世界の平和を祈り行動する。

アジア諸国に対する過去の戦争責任を告白し非戦を誓い、祈りと対話による和解と平和を目指す。

【結び】

これらの「使命」と「目的」をもって「神の同労者」である全国の「女性」たちとともにつながり、祈り励ましあい協働していく。

※ちむぐりさ…沖縄の言葉で「他人の苦しみ、しんどさを知った時、自分の心、肝まで苦しい」の意味

（女性連合『沖縄学習冊子』子ども版 15 頁より）

【活動】

アジアバプテスト女性連合（ABWU）や世界バプテスト女性部（BWAU）との交わりと連帯を大切にする。

.....

検討事項

- 活動：『世の光』、総会・信徒大会、小羊会、
沖縄（平和）ほか
- より多くの仲間とともに：
次世代へつなげるためには
- 組織――個人加入、規約・細則、事務所体制

新たな「女性」連合をめざして

- 理念・目的・役割・働き
- つながる、共に生きる、分かち合う（福音宣教）
- 私たち、世界、次世代
- 日本を含め世界との出会いを通して、学ぶ・生きる力・信仰を分かち合う。

これからの女性連合検討チーム

2022年度メンバー

吉高 路（長）、壺岐基子、泉 美智子、
白井愛子、大竹千賀、岡田富美子、踊純子、
加藤泉、戸井田敦子（書記）、廣島規子、
本多依子、村上千代、山田洋子、
米本裕見子